



令和8年度 学校経営説明資料

開校24周年
6月25日

ユネスコスクール加盟校

【教育目標】

清く明るく豊かな心を持ち、すすんで学ぶ児童の育成

- ◎よく見つめ よく考える子
- 親切で思いやりのある子
- 健康でたくましい子

皆が笑顔になれる わたしたちの学校

校歌「みどりの風」

作詞 関根 榮一
作曲 山本純ノ介

一 青空 むさし野

もえる けやき
きたえるからだ はちきれる
たくましく 明るく
こころ合わせ たすけあう
清明小 おお いきいきと

二 友だち 先生

うれしい 顔よ
いのちの 今が あふれてる
べんきようは 楽しく
よく見て 聞いて かんがえる
清明小 おお のびのびと

うたは みどりの 風になる
ゆめは あしたの 虹を画く
清明小 ああ 美しく



【第3次清瀬市教育総合計画 マスタープラン基本構想】
子どもが育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育

【教育目標】 清く明るく豊かな心をもち、すすんで学ぶ児童の育成を目指す。
◎よく見つけ よく考える子 ◎親切で思いやりのある子 ○健康でたくましい子

- 1 学校教育の充実
(1) 確かな学力を育成
(2) 豊かな人間性を育成
(3) 健やかな体を育成
(4) 一人一人の教育的ニーズに応じた支援
(5) 教育環境を強化・充実
- 2 地域による子どもの育ちと学びの支援
(6) 子どもたちの成長を地域で支える機運を高める
(7) 地域と協働した学校での学びの充実
(8) 子どもたちの安全な居場所を充実
- 3 生涯学習・文化・芸術・スポーツの支援
(9) 世代を超えた学びの機会を提供
(10) 市民文化・芸術の充実と発展
(11) 気軽にスポーツ活動に親しめる機会を提供

【目指す学校像】
皆(子供たち、教職員、地域・保護者)が
笑顔になれる わたしたちの学校

- 1 子供一人一人が自分らしさを生かして、
自他共に成長できる学校
2 教職員の個性や能力が組織の中でも発揮
され、やりがいと誇りのもてる学校
3 「わたしたちの学校」と誰もが誇りに思い、
保護者や地域と協働して子供を育てる学校

- 【目指す児童像】
1 学習の基礎基本を身に付け、自分で考え、問いを立て、他者と協働
しながら学び続ける子供
2 自分も相手も大切にできる気持ちを、言葉や態度で表すことができる
子供
3 互いに協力して活動し、よりよい学校生活を創り出そうとする子供
4 すんで運動に親しみ、よりよい生活習慣を身に付け、心身共に健
康な体をつくらうとする子供
5 何ごとにもねばり強く取り組み、最後までやりぬく子供
6 地域の一員であるという自覚をもって行動する子供

- 【行動目標 (生活・学習)】
(あ) 挨拶をすすんでできる人
(い) 一生懸命に何でも挑戦し続ける人
(う) 運動にすすんで取り組む人
(え) 笑顔のすてきな人
(お) 思いやりのある優しい言葉や行動ができる人
- (か) 書く : 分かりやすく伝える
(き) 聞く : 大事なことを落とさずに聞く
(く) 繰り返す : 復習を通して理解を深める
(け) けじめをつける : 集中して取り組む
(こ) 好奇心をもつ : 問題・課題を発見し主体的に学ぶ

【今年度の取組目標と方策】 教育活動の目標と方策(1年間の学校の教育活動全般についての指針)

1 子供一人一人が自分らしさを生かして、自他共に成長できる学校

1 学習の基礎基本を身に付け、自分で考え、問いを立て、他者と協働しながら学び続ける子供
◇学ぶ喜びが味わえる魅力ある授業・活動を展開し、基礎学力の向上と生き抜く力を育む。
① 意図的・計画的な学習指導への取組
・学習における「**図**書く、「**聞**く、「**読**む、「**写**す」の4つを軸に、「**け**じめをつける」「**こ**好奇心をもつ」を大事にした学習風土をつくる。
・単元で児童に付けさせる力や1単位時間の流れやめあてを明確にした授業・板書計画を立て、適宜、具体物やICT機器を利用した分かりやすい授業を行う。
② 児童の主体的・対話的な深い学びを大切に学習指導への取組
・「子供が考える時間」「対話を生む場面」「振り返りの活用」を大切に授業を行う。
・知識として入る → 納得する → 活用する 段階的な深まりとなるように、納得を引き出すための発問や活用につなげる場を意図的に組み込んだ授業を行う。
・体験的な探究学習や問題解決型学習ならびに話し合い活動を取り入れた授業を積極的に行う。また、児童が自己の学習について振り返る時間を設ける。
・理科加配教員を中心に高学年での教科担任制ならびに学年での教科分担任を実施する。また、各教科では、少人数授業を全学年で実施し、確かな学びと深い学びになるように授業改善を行う。
・全校で朝学習や学年に応じた三文作文に取り組む。
・校内研究(学級会)を通して「自己を見つめ、高め合える」指導を重点に、授業改善に取り組む。
③ 特色ある教育「ESD」の推進
・地域に密着した「環境教育」や「伝統文化教育」を核に、体験型探究学習を通して、多面的、総合的に考える力や生き抜く力を養う指導を行う。
・各教科で身に付けた知識・技能を他教科でも活用できるよう教科横断的なカリキュラム「ESDカレンダー」を活用し、「読み取る力」「分析する力」「考察する力」「説明する力」を育む授業を行う。

2 自分も相手も大切にできる気持ち、言葉や態度で表すことができる子供
◇人と人の関わり合いを大切に、温かい言動が各児童を育成する
① 人権教育の推進
・自他の命の大切さや互いの違いを認め合う活動を各教科において実践するとともに、教職員が児童の人権を大切に指導を行う。
・命の大切さを学ぶ教育や高齢者理解教育、障がい者理解教育を各学年で実施する。
・いじめアンケートやいじめ対策委員会などを適時開催し、いじめの未然防止と早期発見、早期解決に向けた組織的な対応に努め、未解決案件ゼロにする。
・スクールカウンセラーとの全員面接(5年)と全学年で子ども面談を実施する。
② 挨拶運動の推進
・自己の存在を他に示す行為である「返事」。他者との心の交流の表れである「挨拶」。他者への思いやりの気持ちを表す「後始末」。この三つの指導の徹底を図る。
・児童に対して教職員は、率先して昇降口の受付や教室等であいさつプラス一言を添えて迎える。

3 互いに協力して活動し、よりよい学校生活を創り出そうとする子供
◇様々な集団活動に自主的、実践的に取り組むことを通して、自律的で共に助け合える児童の育成
① 学校行事・特別活動の充実を図る
・縦割り班活動や学校行事でのきょうだい学年活動等を行い、児童が互いを認め合ったり、目標に向かって努力したりする場を設定する。また、学級会活動や様々な行事を通して、喜びや達成感を味わわせるとともに挫折や失敗から学び、再びチャレンジできる児童を育てる活動を行う。
② 道徳教育の充実を図る
・自己の生き方について考えを深める学習を通して、よりよく生きるために必要な規範意識や道徳的な判断力と生命を尊重する心や思いやりの心を育み、実践力を育むために「特別の教科 道徳」の授業を計画的に行う。

4 すんで運動に親しみ、よりよい生活習慣を身に付け、心身共に健康な体をつくらうとする子供
◇すすんで体を動かす、健康でねばり強い児童の育成
① 日常の運動の推進
・体力テストや体育学習等で児童の実態を考察し、課題を克服する指導改善や運動環境の整備に取り組む。
・運動の日常化と生活習慣の改善を図るため、外遊びを励行する。
② 健康学習の推進
・養護教諭と連携した心と体の健康学習を計画的に行う。
・栄養士と連携した食育学習を計画的に行う。

5 何ごとにもねばり強く取り組み、最後までやりぬく子供
◇一生懸命に何でも挑戦し続ける児童の育成
① キャリア教育の推進
・キャリア教育全体計画に基づき各教科・領域との関連を図ると共にキャリア・パスポートも活用することでキャリア教育を推進する。
・将来の夢・進路等 発達段階に応じて自分で意思決定をして決めたことを守っているよう指導を行う。
② 特別活動の充実を図る
・様々な集団活動、行事等において、めあて達成に向けて自主的、実践的に取り組めるよう特別活動、行事等の取組を系統性や連続性を踏まえて改善する。

3 「わたしたちの学校」と誰もが誇りに思い、保護者や地域と協働して子供を育てる学校

6 地域の一員であるという自覚をもって行動する子供
◇保護者や地域を活用した教育活動に取組み、児童と地域の方との交流を促進する。
① 学校運営協議会・学校支援本部との連携を図る
・清明未来塾や図書館開放、学習活動等、地域・保護者のボランティア、講師と連携した教育活動を全学年で行う。
② 地域連携への取組
・地域を誇りに思い愛する心身の育成するため、地域の伝統文化や環境を理解し、地域の未来をよりよくしていくこととする体験的な教育活動を行う。
・近隣幼稚園や保育園、地域にある施設との交流を実施する。
・保・幼・小中連携教育の9(1)年間の学びの連続性を意識した教育活動計画の工夫改善に取り組む。また、近隣幼稚園や保育園、地域にある施設との交流を行う。特別活動行事を中心に中学校との連携した活動を行う。
・教員が積極的に地域行事へ参加するとともに地域と連携したボランティア活動を推進する。
③ 情報発信の取組
・ホームページの定期的な更新を行う。
・学校だより、保健だより、特別支援教育だより等を活用して教育活動を発信する。
④ 学校図書館活用の充実を図る
・図書ボランティアを活用し、読書に親しみ環境整備を行うとともに長期休業中や学期に一回の図書館開放を行う。
・学校図書館専任司書を全学年の図書館の時間に配置し、オリエンテーション、読み聞かせ、ブックトーク、ヒアロバトル等の実施による読書活動の充実を図る。
・学校図書館専任司書と連携したレファレンスによる学習を行う。
・市立図書館と連携した学習の充実を図るとともに3年生以上が図書館を使った調べ学習コンクールや清瀬の100冊読書感想文コンクールに取り組む。

【目指す児童像】

- 1 学習の基礎基本を身に付け、自分で考え、問いを立て、他者と協働しながら学び続ける
- 2 自分も相手も大切にすることが出来る
- 3 互いに協力して活動し、よりよい学校生活を創り出そうとする
- 4 すすんで運動に親しみ、よりよい生活習慣を身に付け、心身共に健康な体をつくらうとする
- 5 何ごとにもねばり強く取り組み、最後までやりぬく
- 6 地域の一員であるという自覚をもって行動する



【行動目標 生活】

- (あ) 明るく**挨拶**をすすんでできる人
- (い) **一生懸命**に何でも挑戦し続ける人
- (う) **運動**にすすんで取り組む人
- (え) **笑顔**のすてきな人
- (お) **思いやり**のある優しい言葉かけや行動ができる人

【行動目標 学習】

(か)書く : 分かりやすく伝える

(き)聞く : 大事なことを落とさずに聞く

(く)繰り返す : 復習を通して理解を深める

(け)けじめをつける : 集中して取り組む

(こ)好奇心をもつ : 問題・課題を発見し

主体的に学ぶ

清明小と市内他校 ここが違う①

ESD (持続可能な開発のための教育) の推進

令和7年度 特色ある学校づくり事業予定
ユネスコスクール加盟校

皆が笑顔になれる わが学校

特色のキーワードは
「ESD(持続可能な社会に貢献する教育)の清明小
～環境教育と伝統文化教育を通して～」

清明小の特色ある教育

東京都教科担任制(理科)加配校
(1)教科によって指導する教師が変わり、より専門性を発揮した授業
(2)学年で教科の交換授業
(3)算数科は、全学年で少人数指導

ESD(持続可能な社会に貢献する教育)推進
(1)河川教育基金助成事業校
沼川財団からの河川教育助成を受け「沼川流域を活用した環境教育」の実施
(2)ユネスコスクールSDGのアシストプロジェクト校
ユネスコ協会から助成を受け「清瀬の伝統文化」(ふせぎ、下宿囃子等)地域学習の取組

コミュニティ・スクール事業開始
(1)学校運営協議会を核に地域連携の強化

体験的な探究学習(環境教育を核に)を通して、「読み取る力」「分析する力」「考察する力」「説明する力」育みます。

地域の伝統文化「下宿囃子」「ふせぎ」の体験を通して、伝統文化を受け継ぎ、地域愛を育みます。

<p>柳瀬川自然体験学習</p>  <p>4年生以上が「環境教育」として、学校地域支援本部や清瀬市コミュニティハウス、グロープライド株式会社の方にご協力いただき、柳瀬川での自然体験学習を実施し、まとめています。</p>	<p>ビオトープ体験学習</p>  <p>3年生が総合的な学習の時間を核に清瀬川づくりの会、ビオトープを育む会の方に協力をいただき、清瀬下宿ビオトープ公園で、春夏秋冬の季節ごとに変化する自然の様子を体験しながら学習し、まとめています。</p>	<p>下宿囃子体験学習</p>  <p>4年生が「江戸時代後期から伝わる下宿囃子」について下宿囃子保存会の方々に教わりながらロケ隊で受け継がれてきたものをしっかりと習い、発表会をしています。</p>	<p>ふせぎ縄踊り体験学習</p>  <p>6年生が「地域の伝統文化」について、清瀬下宿ふせぎ保存会の方々に教わりながら、清瀬の伝統伝で受け継がれてきたものをしっかりと習い、発表会をしています。</p>
---	---	---	---

生かすための基礎学力の強化と登校(居場所づくり)

<p>清明未来塾(放課後学習)</p>  <p>2,3年生クラスと4年生以上のクラスに分かれて、個に応じた算数の補習自主学習や宿題等を行っています。東京ペンションクラブの協力を得て学習したこと確実にならせるよう基礎的な内容から取り組みます。</p>	<p>居場所づくり</p>  <p>学校納り、不登校傾向の児童や教室に入れない児童の居場所を準備しています。教室では、教室の学習をオンラインで視聴したり、学生ボランティアの方と課題に取り組んだりしています。</p>	<p>読書活動の充実</p>  <p>寄り添う図書室になるよう地域の方と協力して図書室の環境整備をしています。読み聞かせや全学級での読書の実施など読書活動の充実とともに、読解力・思考力を高める他教科に生かせるよう取り組んでいます。</p>
--	---	---

さようど
きよせ郷土かるた
せいめいしょうがっこうこうしゅうへんへん
～清明小学校周辺編～

ほかにもたてたいは、
きよせのまちには、
いはい、
見つけたら、かきたいてい、
おはしてね

丸通寺
白壁映える
長屋門

下宿八幡
大ケヤキ

柳瀬川
桜並木と
富士の山

落馬して
寺に移した
駒止観音

おかめひよこ
下宿囃子は
にぎやかに

た
たためしたら
親はほろ酔い
子は清水

大蛇は首を
射落とされ

ぬつと出て

森田家の
主屋で学ば
江戸時代

八幡神社

下宿八幡

丸通寺

柳瀬川

落馬して

おかめひよこ

た

たためしたら

親はほろ酔い

子は清水

大蛇は首を

射落とされ

ぬつと出て

森田家の

主屋で学ば

江戸時代

丸通寺

白壁映える

長屋門

下宿八幡

大ケヤキ

柳瀬川

桜並木と

富士の山

落馬して

寺に移した

駒止観音

おかめひよこ

下宿囃子は

にぎやかに

た

たためしたら

親はほろ酔い

子は清水

大蛇は首を

射落とされ

ぬつと出て

森田家の

主屋で学ば

江戸時代

教科横断的な学習へ ESDカレンダー・河川を活用した探究学習計画 ～環境教育(黄色)と伝統文化教育(桃色)～

ESDカレンダー【教科等横断的なカリキュラム】
「ESD(持続可能な社会に貢献する教育)の清明小
～環境教育と伝統文化教育を通して～」

各学年の教科等
環境教育(黄色)・
伝統文化教育(桃色)
の関連

3年 自然いっぱい私たちのビオトープ
4年 自然いっぱい柳瀬川
5年 守ろう 錢そう 私たちの柳瀬川

河川を活用した
体験型・探究
学習計画

R7.11.15 「子供まつり」できよせ郷土かるた



地域の環境学習や地域の伝統文化体験学習と関連させた取組。清瀬第三中学校のボランティア生徒が読み手となり、未就学児から大人まで参加し、地域のことに楽しく触れ合いました。カルタを通して「環境学習・伝統文化学習」への意欲向上が図れたと思います。



一枚のマットにカルタを2セット準備。それを5ブース作って実施しました。カルタの札は、私が学区域や清瀬全体のことなどを考慮し、16枚選択して実施しました。校長室前に常時展示してあります。

(1) 河川教育基金助成事業校

河川財団からの河川教育助成を受け、体験型探究学習「柳瀬川流域を活用した環境教育」の実施



あおぞら学級と3年生以上が柳瀬川体験型探究学習を実施します。ガサガサ体験や河川調査では、学校支援地域本部や清瀬ラボ、企業の方にご協力をいただいています。



3年生が水再生センターや清瀬下宿ビオトープ公園で、春夏秋冬の季節ごとに変化する自然の様子を体験しながら学習します。。

(2)ユネスコスクールSDGs アシストプロジェクト校

ユネスコ協会から助成を受け「清瀬の伝統文化」（ふせぎ、下宿囃子等）の地域学習や国際理解学習の取組



4年生が地域の伝統を調べたり、下宿囃子保存会の方々に教わったりしながら口伝で受け継がれてきたものを体験します。



6年生が清瀬下宿ふせぎ保存会の方々に教わりながら、「ふせぎ」の基本である縄の紬い方を習い、地域学習をします。

清明小と市内他校 ここが違う②

東京都教科担任制（理科）加配校

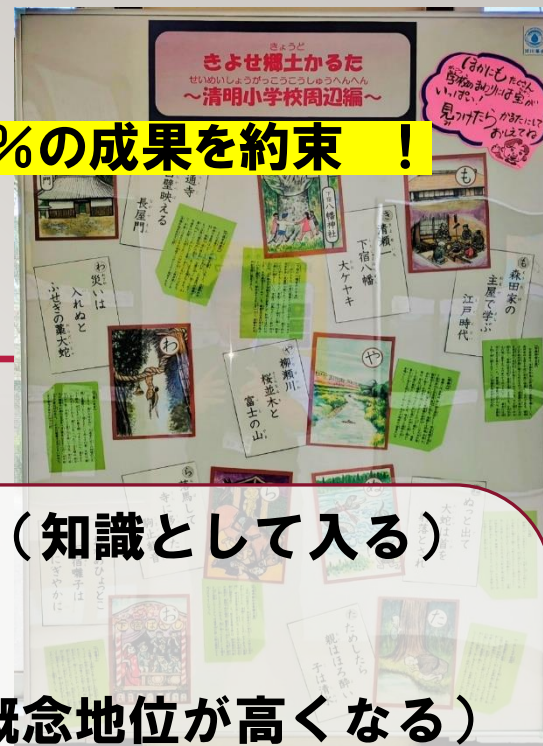
日本語指導教室（国際教室）東京都加配校

- (1)教科担任制による、より専門性を発揮した授業
- (2)学年で教科の交換授業推進による学年経営
- (3)全学年で算数少人数指導による個に合った分かる授業
- (4)日本語指導による学校生活への安心感



特色の継続と深化へ R8からの3年

特色の継続と深化による実践で 8年度 学力向上率5%の成果を約束！



～R7 ①活動したことで
「分かったつもり」



概念形成

(知識として入る)

低

R8,9 ②「だからこうなるんだ」と
語れる納得

(納得 概念地位が高くなる)

R10③「同じ考え方で説明できる」
活用

高度

(活用・広げる)





令和8年度 学校経営説明資料

ユネスコスクール加盟校

**「SDGs 2030 目指して」
皆が笑顔になれる わたしたちの学校**

ご清聴ありがとうございました。
御理解と御協力をよろしくお願いいたします。